

学校だより

ししずえ

甲斐市立双葉東小学校

平成22年5月20日号

日本一を目指した児童総会

みなさんが楽しい学校生活を送れるように、私たち児童会役員でスローガンを考えました。そのスローガンは『かがやく笑顔日本一』です。だれにでも優しい心で相手に接すると、相手も自分も、自然にかがやく笑顔になります。みなさんにもそうなってほしいという願いを込めて「かがやく笑顔」としました。そして、いろいろな人に優しくする、すばらしい学校生活を送れるとよいと思っています。「日本一」というのは、何にでも挑戦し、日本一を目指すという願いを込めています。みなさんも日本一を目指してみましょ。私たち児童会役員は、みなさんが楽しい学校生活を送れるように応援したいと思ひます。みなさんもこのスローガンを忘れずに1年間がんばっていきましょう

これは、4月の最終日である30日（金）3・4校時に行われた児童総会での22年度双葉東小学校スローガン『かがやく笑顔日本一』の提案理由です。児童会本部にとっては6年生になって自分たちの手で行う最初の児童総会でした。気合いの入っている様子がうかがえました。総会内容は22年度の活動方針と、委員会の活動計画についての承認を求めるものでしたが、事前の学級討議を経ての総会だっただけに非常に中身の濃いものでした。スローガンは『かがやく笑顔日本一』でした。スローガン達成のための6つの活動方針として「なかよし日本一」「グリーン日本一」

「やさしさ日本一」「あいさつ日本一」「エコ日本一」「元気日本一」と命名した取り組み内容が提案されました。どうなるんだろうと思うくらい日本一が並んでいますが、本部は何日も原案作りに真剣に取り組んできました。また、3年生以上の児童が参加しどのクラスも真剣に討議に参加しました。そして昨年までの反対のための反対意見とか、学年間の感情的な反対意見とかが全く姿を消し、中身の濃い討論

が展開されました。例えば「エコ日本一運動」の本部提案に対し、5年3組から補強意見が出されました。「学校で各家庭の使用済み油を集めてバイオディーゼル燃料にすればいいと思います」という意見でした。私は目が丸くなりました。たぶん小学生では理解できないだろうと思っていたところ、4年生から「学校だけでは出来ないことなので反対です」また3年生からは「油を扱うのは3年生では無理なことだと思います」等の意見が出てきました。それに対し議長の指名により5年3組の学級委員長が再び立ち上がり「甲斐市役所環境課で使用済み油の収集・管理・運搬をしているので協力してくれると思います」と訴えました。私はまた目が丸くなりました。そして、うなっていました。すかさず隣の教頭先生が「すごいですね」と語りかけてきたほどでした。その後



5年3組の提案に対し5年の他のクラスから「小学生だと、油が重くて落としてしまうこともあるので危険である」等の反対意見が出され、議長からの指示で学級討議になりました。そして採決の結果、補強意見は採用されませんでした。

一つの場面例ですがこのようなやりとりが児童総会の中で展開されました。このように児童会本部の提案に対して、各学級とも賛成・修正意見を出し合い、活発な総会となりました。この児童総会の見事さの原因は、まず本部の結束の強さと議長指導が行き届いていたことがあげられます。二つ目は5年3組の意見に代表されるように、学級討議の中で質の高い原案検討がなされたことがあげられます。

そして今後はスローガン倒れにならないためにも、本部を中心に11の委員会と21の学級が、総会での決定事項を真剣に受け止め、行動に移すことが最も重要になります。さらに支援する教職員の指導力も問われることになり責任は重大です。この児童会に大きな期待をしたいと思います。

ちなみに児童会担当の小俣先生は、この日の展開に思いをめぐらせ前夜ほとんど眠れなかったようでした。

うらめしやの雨

5月11日に予定されていた1～4年生の春の遠足が、朝からの雨のため19日に延期になりました。夜も眠れないほど楽しみにしていた子どももいたと聞いています。しかし19日の天気予報も曇り後雨の予報で、当日も既に朝から時々小雨混じりの天気でした。今度かと思ひ、再び眠れない子どもがいた反面、決断に揺れた学年主任も眠れた人は少なかったはずです。決断の結果、1・4年生は形を変えて延期することにし、2・3年生は実施することになりました。12時過ぎからの本格的な雨の予報の中で、遠足内容を考えるとまさに妥当な決断だといえます。そして各家庭にはご迷惑をかけた面もあったかと思いますが、ご理解願いたいと思います。

